本の紹介③：Misrepresentation Hunting

□所要時間	授業外での準備に2週間程度、授業内でシェアする際は、30分～60分
□主なスキル	リーディング（特に、クリティカル・リーディング力）
□形式	Misrepresentation を探す作業は各自行う。探してきた misrepresentation を紹介する活動は、ペアやグループの Book Talk 形式で行う。最後に、最も説得力のあった misrepresentation を全員で投票してもよい。
□概要とねらい	
<p>Misrepresentation とは聞き慣れない言葉かもしれませんが、<i>Cambridge English Dictionary</i> の定義によると、“Something that misrepresents an idea, situation, or opinion, or the fact of something being misrepresented”とあります。考えや状況、事実を誤解したり間違って解釈した表現のことですが、この活動では、特に人種、性別（ジェンダー）、文化、社会通念などに関わる点で、偏見、誤解、無知、思い込みなどが表われている描写を指しています。本の中の登場人物が何らかの偏見を表出したり差別的態度を取ったりする描写はもちろんのこと、本の書き手が無意識に自身の偏見、誤解、無知、思い込みを表出してしまう場合も含まれます。例えば、Penguin Readers Level 3 の <i>Billy Eliot</i> には、幼い息子がバレエダンサーになるのに反対する父親が登場しますが、彼は、「バレエは女がやるもの」という偏見を持っています。これは前者の例に当たります（物語の後半で、この父親は自分の偏見を克服します）。一方、Oxford Factfiles Level 1 の <i>Japan</i> には、“Most Japanese people have two religions – shintoism and Buddhism”という文が出てきますが、これを読んで違和感を感じ、「この表現は誤解を招く。私は無宗教で神道も仏教も信じていない」と思う日本人読者もいるでしょう。この例は後者に当たります。書き手の側に嘘を言うつもりがなくても、言葉が足りないために読者をミスリードするような表現をしてしまっているのです。</p> <p>他にも古典と呼ばれる文学作品には、こうした例がたくさん見られます。有名なところでは、ウィリアム・シェイクスピアの『ヴェニスの商人』におけるユダヤ人高利貸シシャイロックに対する差別的な描写や、ダニエル・デフォーの『ロビンソン・クルーソー』におけるフライデいの奴隷的扱いなどです。ジェーン・オースティンの小説に登場するジェントリ階級の娘たちが父親の財産を相続できないという設定なども、現代の女性が読むと「なにそれ！あり得ない！」と不愉快に感じるに違いありません。この「不愉快な感じ」「違和感」が、この活動でいう misrepresentation を見分ける最大のポイントになります。</p> <p>もちろん、こうした例をあげつらって作者や執筆者を非難することがこの活動の目的ではありません。本に書かれていることを鵜呑みにするのではなく、批判的に読むクリティカル・リーディングを習慣化することが目標になります。下記に引用した学生のコメントにもあるように、ふだん何気なく読み流している本を Misrepresentation Hunting という視点で読み直してみると、これまで気づかなかった事柄にたくさん気づかされるようで</p>	

す。さらに、「これは英語を読むときにだけの問題ではなく、ふだんの生活にもあてはまる」との気づきにもつながります。

ぜひ Book Talk の応用例として実践してみてください。

事前準備（必要な教材、器具など）

図書館や電子図書サービス（e-book）を活用し、参加者が多数の graded readers を読める環境を用意する必要があります。1、2冊読んだだけでは、misrepresentation に当たる例を適切に見つけることができない可能性が高いので、たくさん読んで探すよう指示します。

手順

Lesson 1（90分程度）＋授業外課題

1. 教員が misrepresentation とは何かを解説する。具体例を挙げるとよい。このとき、単に差別表現を探すだけではなく、書き手（graded readers の執筆者、あるいは、原作がある場合は原作となっている作品の作者）が無意識に表出してしまっている偏見や誤解、無知、思い込みが見られる箇所を探すよう指導する。Misrepresentation であるかどうかは、読んでいて「不愉快さ、不公平感、違和感」を感じたかどうかをポイントになる。
2. Graded readers をたくさん読み、misrepresentation に当たると思われる表現、設定などを探させる。授業時間だけでは十分な時間を確保できないので、2週間くらいの期間を与えてじっくり探させたほうがよい。このとき、ワークシートを用意し、misrepresentation に当たる表現や設定を書き出し、それが何を misrepresent しているのか説明させるとよい。

Lesson 2（45~60分程度）

3. ペアやグループになり、それぞれが見つけてきた misrepresentation を紹介し合う。このときに、書き手のどのような偏見や誤解、無知、思い込みが misrepresentation につながっているかを参加者に考えさせると、クリティカル・リーディングの練習になる。
4. グループでシェアした場合は、グループの中で最も説得力のあった misrepresentation を選び、クラス全体に紹介してもよい。

【学生の反応】

大学2年生対象の実践より

- 本を読むきっかけにはなったが探すことに集中してしまいあまり内容を楽しむことが出来なかった。
- 私は本を読む時その本の設定などをそのまま当然のように受け入れていましたが、

もしかしたらこの設定自体が不自然なのかもしれないという前提で読むと意外と違和感を覚えることが多かったです。特に、100年前などかなり昔を描いた話などはその当時では当たり前であったであろう価値観が現在では差別や偏見と捉えられていることで **misrepresentation** に繋がるのだと思います。

- 意外にあるんだなあ、って思った。数をこなすしかない！大変だけどたまたま(?) 見つけられてよかった。少し自分のリーディングスピードが上がった気がした。
- 普段受動的に本を読んでいると気付かない不自然な表現や差別的な表現を見つけることができ筆者の性格などが少し垣間見えるのがおもしろいと思った。また、注意深く読んだことによって本の内容への理解が深まってよかった。
- 今回 **misrepresentation** を探すのにあたって 5冊読んだ。バレエをしたいビリーに対し父は「バレエをするのは女の子だけだ。男の子はサッカーかボクシングをやりなさい」と言って聞かなかった。(←Penguin Readers Level 3 *Billy Eliot* を読んで)
- **misrepresentation** を見つけることで、本の理解が深まりさらに自分が逆に文を書く立場になったときに今回学んだことを意識しながら書こうと思う。
- なかなか **misrepresentation** を見つけるのは難しかった。ただ、それを意識して読む事によって普段と異なった感覚で読書できたのは新鮮だった。
- 今回このアクティビティをして、意外と気付かないところにさらっと **misrepresentation** はかくれているんだなと思いました。こうやって批判的に読まないで気付かないうちに影響を受けてそうで怖いなと感じました。
- なかなか見つけられず大変だった。
- なかなかみつからなかったが、**misrepresentation** を見つけようとして、興味のない本に対しても深く理解しようと思うことができた。このような活動を通して本が伝えようとしたことも発見できて **misrepresentation** が何故小説内に存在するのかも何となく分かった。
- 普通に読んでいるだけでは気付かない、感じない所を注意深く読む事で感じ取る作業は英語だけでなく普段の生活にもあっていい物だと思った。

Cf. ワークシート例

Misrepresentation-hunting Worksheet (for a 5-minute presentation)	
ID Number	Name
I read _____ from _____ series.	
①	First, I'll summarize the book briefly. (詳細なあらすじは不要。When/where/who/what がわかればよい)
②	I've found this book misrepresents * * * * *. (* * * * *のところに、例えば black communities/gender roles/Japanese culture/sexual orientation/family relationships, etc)
③	I will quote a passage/a conversation/sentences which show(s) the misrepresentation. (②で示した misrepresentation が顕著に現れている箇所を引用する。引用を読み始めるときは、最初に quote と言い、引用終わりには unquote と言うこと。) This quote shows ... (引用箇所についての説明) /The reason why I chose this passage is that (選んだ理由を述べる)
④	I conclude that this book shows .../ that this book tells us .../ that this book depicts ... (結論で、あなたがこの本をどう評価するかを述べる)

(文責：深谷素子)